

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ワークショップ1B	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科	コース名	全コース	開設期	前期/後期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	45時間
単位数	3単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	中川 美穂	実務経験の有無・職種	有・学術博士		
学習目的					
色の3属性(色相・明度・彩度)を使ったトーンを理解し、自分のイメージが表現でき、他者にも伝わる様表現する。色もたらす意味、効果について学習し、色彩計画に不可欠な色彩の基礎を、実習課題を通して学習する。また、色彩検定、カラーコーディネイト検定にも対応できる基礎を学ぶ。					
到達目標					
多角的な視点から、色彩の知識を学び、興味を持って色を効果的に活用でき、応用するための方法を習得することを目的とする。 前期：色彩の基礎を学ぶ。 後期：前期授業内容に基づき、色彩の知識をもとに、それを応用、作品の生かし方を体得することにより、色彩をイメージ通りに使うことができるようにする。					
教育方法等					
授業概要	この授業は、演習台紙を使用し、実際に知識から、作品に生かすことによって身に付けていく授業。 色相による、作品への・効果・色彩情報・色彩設定に不可欠な色彩の基礎知識を体験的に学習。 色彩検定、カラーコーディネイト検定への応用も行い、検定へもつながる授業となる。				
注意点	この授業では、テーマに合わせて計画な作業を行う事が重視される。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	平常点	20%	授業内容の理解度を確保するために実施する		
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション	色のテスト			
2回	色相環	トーン別色相環作成			
3回	色の分類	トーン別色相環作成			
4回	トーン	ドミナントカラー・トーンオントーンを理解			
5回	色名	基本色名、系統色名、固有色名、慣用色名			
6回	混色	加法混色、減法混色、中間混色			
7回	配色とキャラクター	配色からキャラクターの分類			
8回	配色(1)	ピコロール・トリコロール・トータル			
9回	配色(2)	ダイアードからヘクサード			
10回	配色(3)	同一色相配色から補色色相配色			
11回	配色(4)	ナチュラル・コンプレックス			
12回	配色(5)	アクセントカラー・セパレーションカラー			
13回	色とイメージ	国旗など、世の中の色の意味を学ぶ			
14回	色とイメージ(2)	国旗など、世の中の色の意味を学ぶ			
15回	色の見え方(1)	目の仕組み、色弱、色盲、盲点について			
授業計画(16回～30回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
16回	色の見え方(2)	対比、同化			
17回	色の見え方(3)	色の効果			
18回	錯視と色の見え方	錯視と色の見え方			
19回	流行色	流行色			
20回	色と心理(1)	色と心理の関わり①			
21回	色と心理(2)	色と心理の関わり②			
22回	色と心理(3)	色と心理の関わり③			
23回	衣装と化粧(1)	キャラクター制作に合わせた配色①			
24回	衣装と化粧(2)	キャラクター制作に合わせた配色②			
25回	衣装と化粧(3)	キャラクター制作に合わせた配色③			
26回	衣装と化粧(4)	キャラクター制作に合わせた配色④			
27回	売れる作品を作る為に	子供服をテーマにプランニング コンテスト形式			
28回	背景に活かせる環境と色彩の関係	環境から色を学ぶ			
29回	芸術療法の色を使い方	芸術療法			
30回	まとめ	前期・後期で学んだ内容の総括と要点確認			